



12月18日 | 戦国絵巻をリアルに再現

島田工業高等学校建築科の生徒8人が、戦国時代の「城攻め」を再現した精巧な巨大ジオラマを制作。市役所本庁舎の1階ロビーに展示しました。

臨場感のあるこのジオラマは、秋の文化祭に向けて、8カ月を費やして製作。縮尺は35分の1。全体の大きさは、幅2.7m、奥行き1.35m、高さ0.6m。その迫力から、多くの来庁者の目を引いていました。

12月5日 | 地域の美化に生徒有志350人

島田第二中学校の生徒有志が、中央公園・中央小公園・元島田公園で、清掃奉仕に汗を流しました。

自分たちの住むまちを自らきれいにしようと、生徒会本部と整備専門委員会が中心となって企画。全校生徒に呼び掛けたところ、約350人の生徒が賛同し、心良く参加しました。生徒会では、今後も有志生徒による清掃奉仕活動を行う方針だそうです。



12月14日 | 日本の伝統文化を体験学習

相賀小学校の全校児童約50人が、地元のお年寄りを講師に招き、正月飾り作りに挑戦しました。

児童は、お年寄りの手ほどきを受けながら、ワラの輪飾りにウラジロ・ユズリハ・キンカンなどを丁寧に飾り付け。

約1時間で自作のお飾りを完成させた児童は、それぞれの素材に長寿・伝承・繁栄などの意味があることを学び、日本の伝統文化への理解を深めました。



12月2日 | にらみ合う迫力満点の大蛇

大代地区のまちおこしグループ「王子田会」の皆さんが制作した、毎年恒例の「ジャンボ干支」が完成しました。

18作目となる今回の作品は、来年の干支「巳」にちなんだ高さ3m、幅5mほどの大蛇2匹。にらみ合い、躍動感あふれる蛇は、竹と間伐材で骨組みを作り、ワラ約200kgで肉付けされています。県道焼津森線沿いに、来年2月末まで展示される予定です。



12月14日 | 師走を安全に乗り切るために

市役所駐車場で「年末警戒・年末の交通安全運動県民運動」の出発式が行われ、島田市や川根本町、島田警察署や防犯・交通安全関係団体などが参加しました。

式の後、パトカーなどの車両15台が出発。続いて参加者は、中心市街地で夜間の自発光式反射材の着用を呼び掛ける「ピカッと作戦!」を展開。ドライバーや歩行者に、飲酒運転の根絶や交通ルールの順守を訴えました。

12月4日 | 新年も元気に粘り強く

島田学園付属幼稚園で、昔ながらの餅つき大会が行われ、年長児140人が、杵つきに挑戦しました。

三角巾にエプロン姿の園児たちは順番に、元気な掛け声に合わせて、重い杵と粘るもち米と格闘。柔らかくつきたてのお餅は、園児自ら手で丸めてから、きな粉などをかけて、みんなで味わいました。園内には「自分でついたお餅は最高!」などの歓声とともに、笑顔があふれました。

